

生活・文化拠点再整備事業
シンポジウム参加者アンケート結果

2023年（令和5年）1月

藤沢市企画政策部企画政策課

生活・文化拠点再整備事業シンポジウム参加者アンケート結果

1 概要

(1) 開催目的

生活・文化拠点再整備における公民連携を軸とした検討プロセス等の共有を図るとともに、公民連携によるまちづくりの視点から、生活・文化拠点の未来像について市民や利用者とともに考えることを目的に開催しました。

(2) 開催内容

ア 時間 2022年（令和4年）12月17日（土）午後4時～6時30分まで

イ 場所 藤沢市民会館 第1展示集会ホール

ウ 内容 ・生活・文化拠点（市民会館等）再整備の取組について

・基調講演「公民連携による新しい公共空間のつくりかた」

講師：株式会社オープン・エー | Open A 代表取締役 馬場 正尊 氏

・トークセッション「エリアの価値を高めるために」

登壇者：株式会社オープン・エー | Open A 代表取締役 馬場 正尊 氏

有限会社 BACH（バッハ） 代表 幅 允孝 氏

藤沢市 副市長 和田 章義

エ 参加者人数 103名（当日27人欠席） ※市関係者除く。

(3) アンケート実施方法

シンポジウム当日、参加者に対し、【別紙】「生活・文化拠点再整備事業シンポジウム参加者アンケート」を配布し、任意での回答を受け付けました。

(4) 回答状況

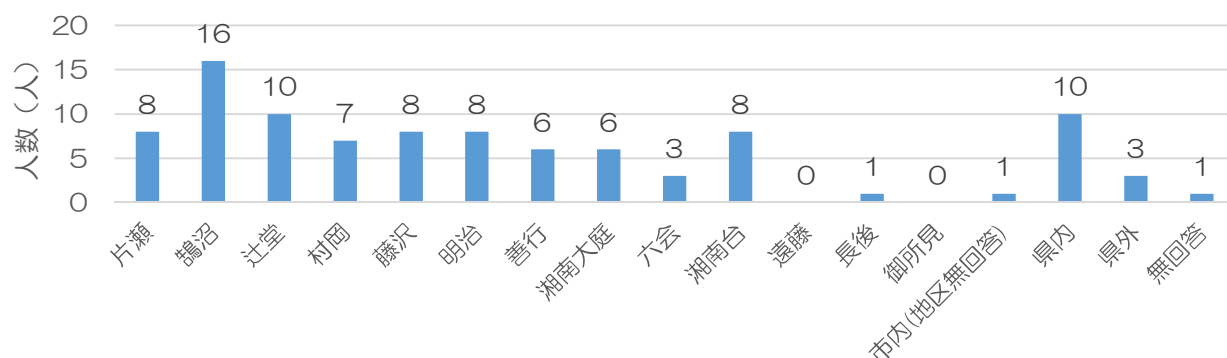
参加者103人のうち、96人が回答（回答率93.2%）

(5) 結果を見る上での注意事項

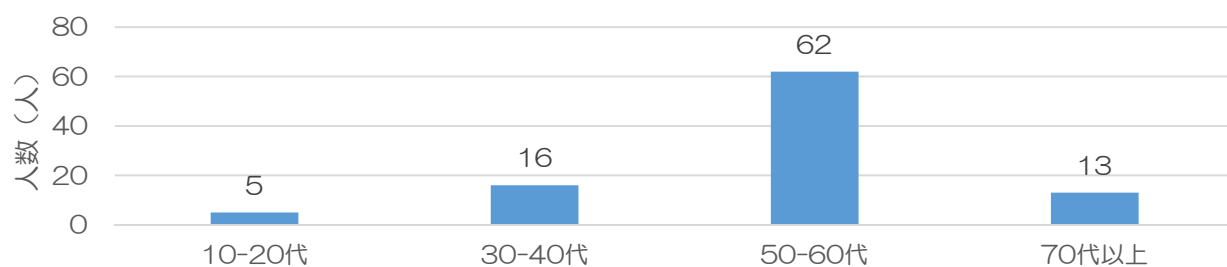
- ・回答者数は96人です。
- ・複数回答可（2つ以上選んでよい問）においては、回答数の合計を表示しています。
- ・百分率（%）の計算は、小数第1位を四捨五入し、整数で表示しています。
- ・自由記述のご意見・ご感想については、全文掲載しております。言い回し、誤字等により、一部文言を訂正して記載しています。なお、手書きの記述内容が読み取れない等で一部記載できないものは除かせていただいておりますので、ご了承ください。

2 集計結果

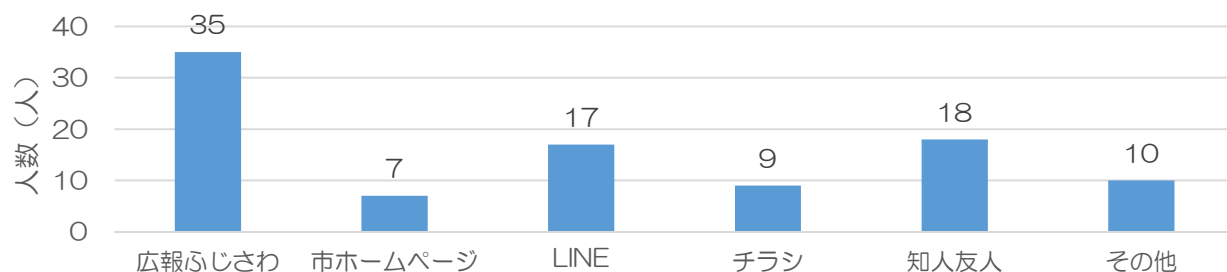
(1) お住まい（市内地区別・県内・県外）



(2) 年齢

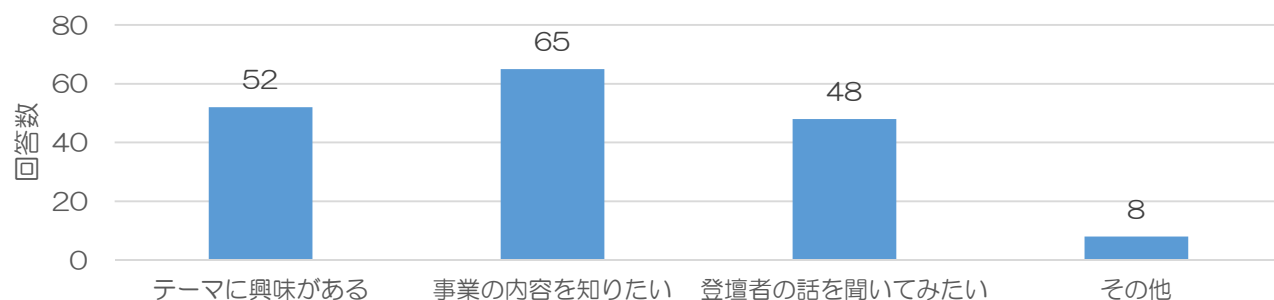


(3) 本シンポジウムを知ったきっかけ



➤ その他回答：所属団体、職場等からの周知など。

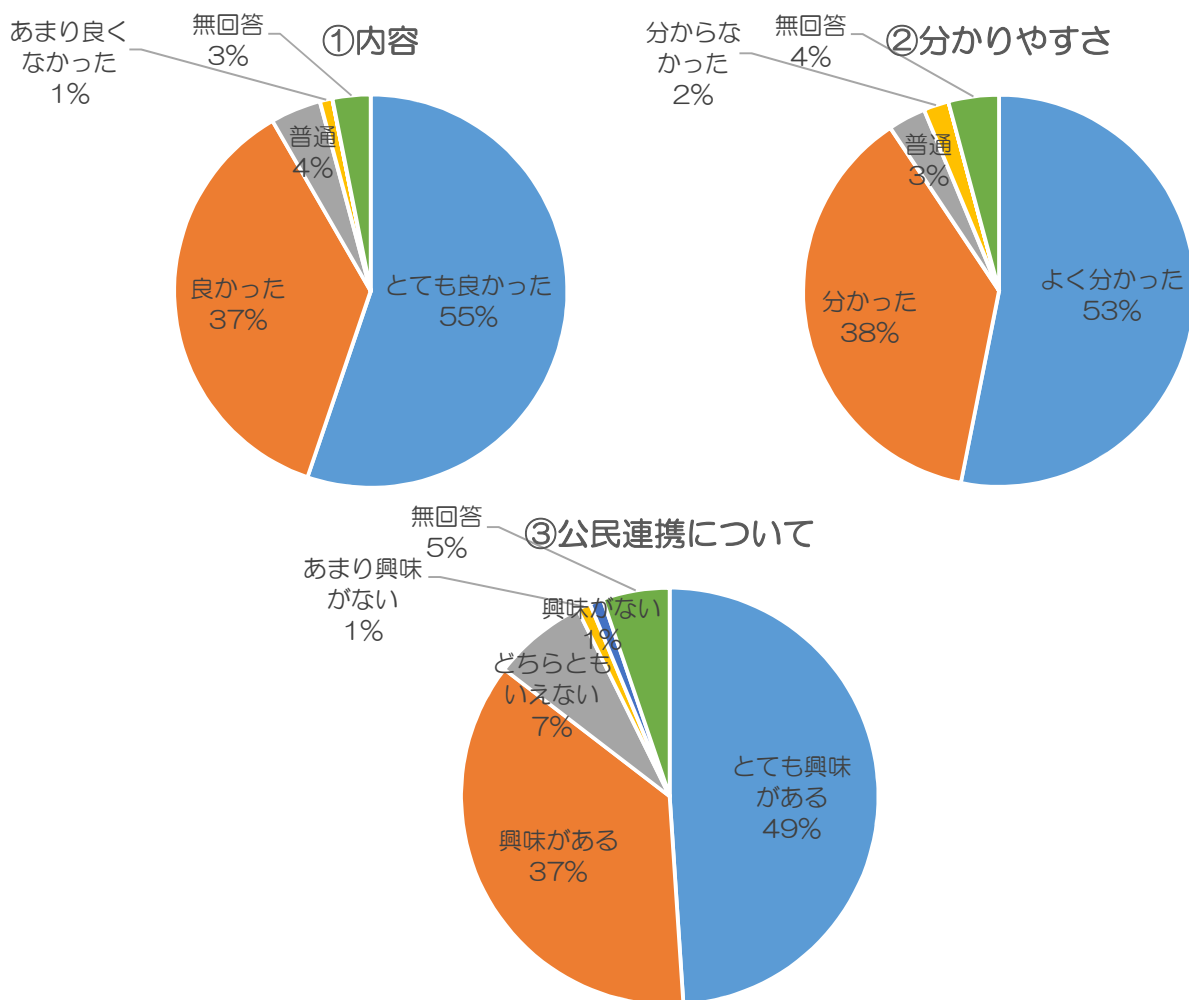
(4) シンポジウムに参加された理由（複数回答可）



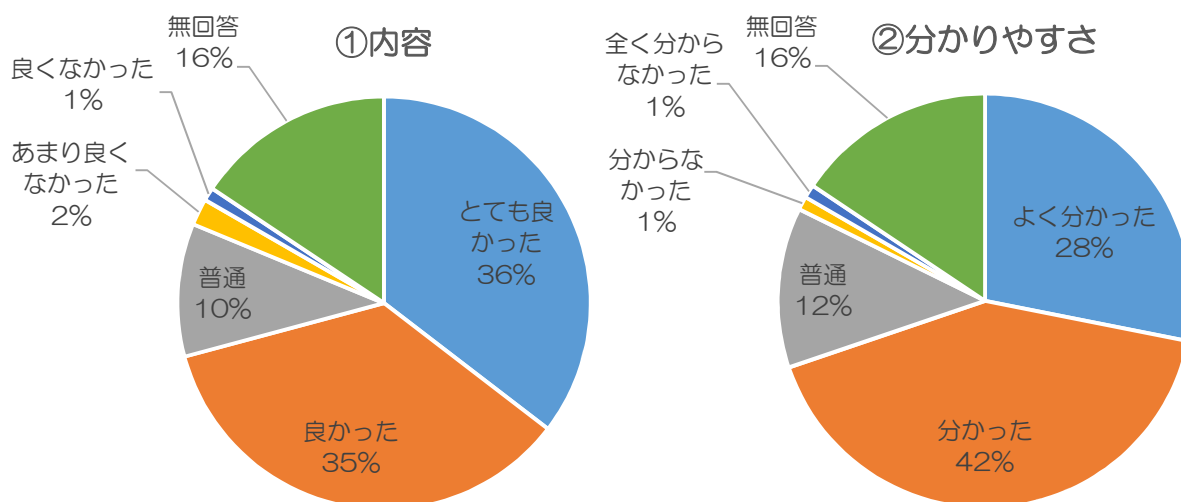
➤ その他回答：近隣に住んでいるので把握しておきたいなど。

(5) シンポジウムの内容について

ア 基調講演「公民連携による新しい公共空間のつくりかた」



イ トークセッション「エリアの価値を高めるために」



ウ その他【基調講演・トークセッションに対するご意見・ご感想】（自由記述）

- ・ play を追求する施設の建立を願っています。
- ・ 公民連携がうまくいかなかったケースはないのか。あるとしたら、その原因は。
- ・ バッハ幅さんのお話は最高でした。トークセッションも副市長の本音は真実味があって、よかった。個人の考えをなかなかラフに言えないのも副市長の人柄でしょう。すてきな職員の方々で嬉しいです。
- ・ 想像していた以上に楽しかった。盛り上がりましたね。
- ・ 司会がよかった。
- ・ 民間と協賛している点、売り上げを高めている点、「パークマネジメント」はとても興味深い。ソフト→ハードへの影響を及ぼす点も面白い。「どういう空間だったら、どういうことをしたいですか？」という問いは参考になる。
- ・ 幅さんのお話は初めてだったが、本に対する愛をベースにインスピレーションをたくさん受ける内容で最高でした。馬場さんにはリノベリングなどの機会でお話を聞いていたが、地元藤沢を介した話は初めてだったので自分の仕事にも活かせる部分も数多く貴重な時間になりました。副市長の質問は途中から内部ガバナンスの話に移ってしまい少し残念でした。
- ・ 市長に出てもらって、市長としてのビジョンを語ってもらい、クリエイターの方々と意見交換することで、プロジェクトに対しての市民への説得力が出るのでは。職員に対しても、若手の登場機会を作ったのはさすがクリエイター。
- ・ 大切なヒントがたくさんありました。素晴らしい方を呼んでいただきありがとうございます。この事業が使う人→作る人→計画する人の新しい流れをしっかりと取り入れていけますように。
- ・ 同じ船に乗ってプロジェクトに向かう当事者になるという意識があってこそ、よい空間ができるのだと感激しました。
- ・ 藤沢市にブライアンパークや南池袋公園のような場所ができないかワクワクしてきていました。子どもができてから、こんなに公園に行く機会が多いのだと思いました。公園におしゃれなカフェがあったり、子どもを遊ばせながらママ友とゆっくりできるスペースがあればよいのにとずっと思っていたのですが、行政運営だからか、そんなことさえ叶わない。道路は施設と公園の間を通さないでほしいです。ラジオができれば面白いです。プロセスの発信は効果的だと思います。行政が身近に感じられるかもしれません。
- ・ 24 時間営業の図書館をお願いします。
- ・ 自由な発想で、みんなで考えていきたいと思いました。
- ・ 貴重な参考意見として、大変良かったと思いました。
- ・ 今回のトークセッションの内容もプロジェクトのもと進めていって欲しい。ただのトークイベントにして欲しくない。
- ・ 教授の勧めで参加したが、ただ学校で習っただけの都市計画ではなく、リアルタイムで進んでいく計画と、それに対してどうすればよいのかという、新たな発見につながりとても良かった。
- ・ 公民連携から、生活と文化を「公園」という機能に落とし込むポイントと当事者のできることを学べた。藤沢市の立場に近づけた話を聞いた。講演がより現実に近い理想を想像できた。
- ・ 市長・担当者・市民+アドバイザーでのセッションも企画して欲しい。

- ・ 市民会館、ホールの専門家がいても良かったと思う。変化・変更が可能な柔軟な運営プログラム、行政が不得意なところをどう克服できるか。
- ・ 資料が欲しかったです。企画政策課の説明が分かりにくかった。話が早すぎた。市民対話集会を何回か開いてほしいです。ディスカッションできる場がやはり必要だと感じた。話す人→聞く人という形ではサウンディングはできないと思うので、今日集まった人をグループに分けて集会を開いたりできたらよい。副市長の話を聞いて、もっと熱い想いが聞きたかった。自分の場所、個人として楽しめる空間を。
- ・ テーマと違うトークになってしまい、内容がわからなかった。副市長をセッションに加えないほうが話は面白くなったように感じます。馬場氏の講演の「仙台匂当台公園」は、昔仙台に住んでいたのが懐かしかったです。その頃は寂しい公園というイメージでしたが、定禅寺通りとつながることで、市民の流れができることを感じています。新しい市役所ができれば、見に行きたいです。池泉近辺も、よく行くところだったので、これからに期待。また、県立図書館の研修で二上幸治氏の話の話を聞きました。新しい県立図書館の設計・デザインに、使う人（職員や利用者）の意見が反映されておらず、また、建物の引き渡しはゴールになってしまうので、その後の改築に金銭的余裕がないことなどの問題点があげられていました。使う人→作る人→計画する人への流れ、変更可能な変化に強いプロジェクトの大切さを感じています。
- ・ 公園を売り上げを上げる場所として捉えていなかったもので、とても興味深かった。あちこちの様々な環境の公園の例がどれも面白く、訪れてみたいと思う。市民・住民からのプレゼン案を集めるのはとても良い取り組みだと感じた。
- ・ 今後も勉強会があれば参加したい。
- ・ 図書館に関わっている人間として、幅さんのお話は「我が意を得たり」がたくさんあったが、一方で質問したいことも多くありました。質問できる機会が欲しいです。馬場さんの進行は素晴らしかったです。副市長の前向きな姿勢もうれしかったです。限られた条件の中でも、行政を信頼し、協力していこうと思えました。
- ・ 馬場さんの提案で、職員の顔が見られてよかった。この職員さんたちならお委ねても良いと思いました。夜の図書館希望など、0%→10%とか、七夕の頃に1週間だけするとか、柔らかい頭で考えていきたいですね。
- ・ どの話にも共通していたのは、理想を持っている中心と「それ以外」の人が、どう関わられるかという課題だと思いました。馬場さんが、「そこを使う人、使わない人、色々な意見がある人がいてよいのではないか。多数派、少数派がぶつかることも一つの物語」とコメントされた。ぜひ、受け入れ間口の広いプロジェクトにして下さい。
- ・ 何が欲しい、というスタンスではなく、この場をこのように使いたい、ここで〇〇がしたいという、市民の本音を本気で聞いて欲しい。これから、そのような機会があることを切に望みます。子どもを人として扱い、子どもを大切に考えて欲しい。幅さんの「文化的な部分が利益を生まないことを理由に縮小してしまうのは違う気がする」に、すごく同感だ。その重要性をまず大人が知って考えて欲しい。
- ・ 遅れて行ったため、今ひとつ、つかめないところがあった。トークセッションは、市民に向けての話ではないのかなという感じだった。

- ・ 幅さんのお話はとても勉強になりました。副市長のお悩み相談みたいになりましたね。組織風土改革なくして本プロジェクトの成功はないことが実感できました。
- ・ 馬場さん、幅さんのお話がとても有意義で、楽しく参加させていただいてよかったです。漠然とした思いを言葉にしてもらいスッキリ感も味わせていただきました。
- ・ 幅さんのお話は、本に対する思いにあふれていて、聞きに来てよかったです。大阪こども図書館等の手の届かない商業書架が建築家の希望だったことがわかりました。バリアフリー対応ということで建て替えることになったので、十分に考慮してほしいと思います。
- ・ 具体的な例を挙げて説明していただき、わかりやすかった。この地区が、公園を主体とした近隣住民にとって憩いの場となる未来を想像しました。幅さんのお話は、とても興味深く、共感した。もっと聞きたかったです。職員さんの顔を見て、このプロジェクトにかける気持ちが聞けて、頑張してほしいと思いました。
- ・ 公園が生活・文化の各要素を結びつけるということに同感です。あとは具体的にどう調和させるかだと思いました。
- ・ 最初のバッハさんの話が長すぎました。図書館ありきの議論になっているが、長い経緯があるだろうが、このエリアになぜ必要なのか、ご教示いただきたかったです。馬場さんの軌道修正のタイミングが遅かったですね。
- ・ 馬場さんの話はこの場所に限らず公園の再整備など色々な空間づくりに応用できるのでは。片瀬山市民の家再整備×片瀬山公園などもこの発想ができると面白そう。
- ・ 頭の啓発になりました。プロジェクトに関与したい人の頭脳トレ、楽しかったです。
- ・ 市民参加を進める場合、多様な意見や世代間の価値観が真逆な中で、どのように合意形成を進めるのかをお聞きしたかったです。
- ・ 貴重なお話をありがとうございました。頭が柔らかくなった気がします。
- ・ 公共施設の在り方が公園を通じて変化していく様子は非常に興味がある内容でした。
- ・ 変更可能なハード・ソフトを作ることは、長期に渡るものなので大切。芸術は可視化できないこと、数値では測れないことを肝に銘じたい。
- ・ 若手にリードしてもらおうプロジェクトになったら良いと思いました。
- ・ 図書館の規模を今までのサイズとするのか、中央図書館のようなものを想定しているのか？蔵書数は？もし大規模な図書館なら、インターネット検索機の台数も増えるとよいです。また、昔のテレビのビデオなど見られるようなものがあったらよいのでは。横浜まで行くのは遠いので。レフェラルサービスもありがたいと思います。国会図書館のCD資料も音で検索できるように。他府県の図書館の検索もできるとよい。FAXで資料を送ってもらえるとよい。県立図書館は閉架になっている蔵書もブラウジングできるとよいと思います。新聞検索もできるようになるとよいと思います。最近の図書館に文学全集が減っているのでさびしく思います。子どもの頃よんだ、日本文学全集、世界文学全集など、流行で多くの人が借りる本だけでなく、価値の高い本や、カルチャーのテキストは置いて下さい。新刊書店の本が3か月ぐらいですぐに消えますが、人気の本など特に文庫本・新書など、良さそうな本を増やせばサラリーマンの方たちも利用が増えるのでは。図書館で飲食しながら読書は難しいですが、休日の親子連れの過ごす場所として、テーマパークのように、建物の中・外に飲食しながら過ごせる場所もあってよいと思いま

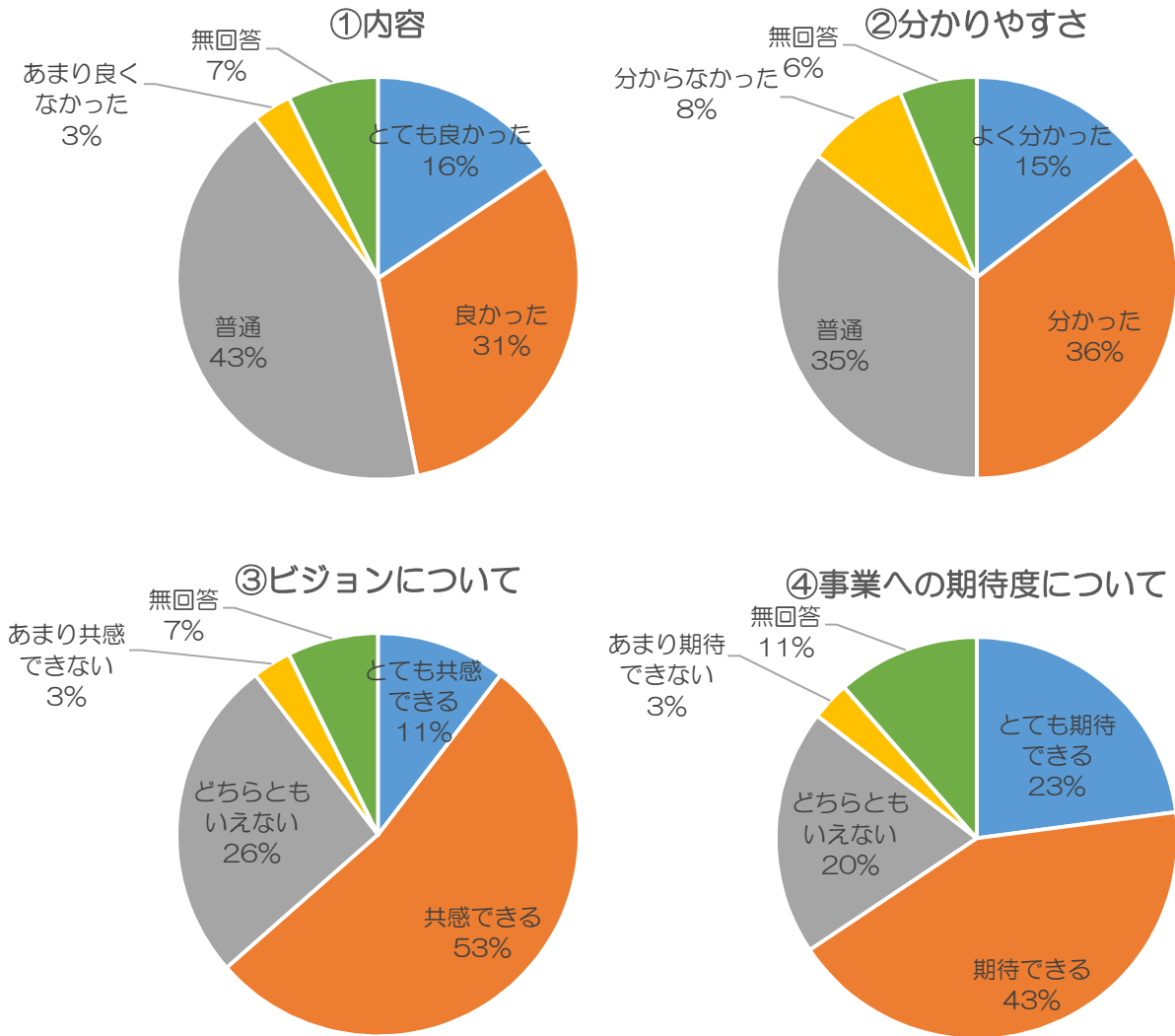
す。新刊書やCD・DVDを図書館で気に入ったものが近くで購入できてよいと思います。駅の近くの有隣堂が近く建て替えになると聞くと、本屋がなくなるのが心配です。図書館のCD・DVD視聴コーナーも増やしてよいと思います。昔人気だった映画など、日にちを決めて、大きな部屋で見られるのもよいと思います。選書された蔵書も増やしてもよいと思います。年金生活になると、インターネットの月々の費用を減らしている方も多くなりますが、インターネットのプリントアウトできたり、アマゾンの中古本の注文ができるとうよいと思います。高齢者が雑誌や新聞をブラウジングしながら過ごせるコーナーもよいと思います。

- ・ やや散漫だが光る話題もあった。結論は公（藤沢市）の役割につける。トップダウン-ボトムアップの割合、マネジメント、責任者がしっかりしていれば確実にプロジェクトは回る。
- ・ 公民連携について、やり方が難しい。行政がどこまで腹をくくって、公・企業・市民をつなぐのか？幅さんの話はとてもよく分かった。面白かった。その発想を大切に藤沢市も取り組んでほしい。
- ・ 公共施設は、機能の充実と使いやすさを第1に考えることが大切です。コンセプトが立派でも。利用者の立場に立ち、運営、管理、演じる側などの意見を十分に聞き、議論して進めてください。
- ・ 幅さんの図書館の話は不要、長すぎ。今日のテーマに時間を使ってほしい。たぶん出席の方はある程度具体案・イメージの話が聞けると期待をもって参加されているのではないかと思います。広報にのせて、LINEを送り、チラシを置いて企画政策課という名前を出せば、「市民会館建て替えの説明会」くらいの認識で来る。事前の案内がおかしい。それを知っていたら来なかった。時間の無駄だった。話の途中で、今日のシンポジウムは職員の有志が企画したものであると言われた。副市長はそれを前面に出している印象を受けたが、一市民としては、有志の企画であるとは見えない。市の正式な説明会という期待で参加する。プロジェクトのメンバーはどのような意識で企画されたのか分からないが、発表して、人を集めて、時間を使った時点で、市の正式な見解となってしまいうこともある。副市長は「うちの職員が企画したプロジェクトをどう思うか」など余計なことを言い、時間の無駄が多い。これだけの人を集めて、時間を使わせていることをどう思っているのか。
- ・ 公民連携が柔らかいイメージで想像と違いました。非常に興味が湧きました。本のお話、何にでもつながる可能性があり、ヒントになりました。
- ・ ゲストは力量のある方々だったが、テーマがぼんやりしていた。市の取り組みのアピールの場となっていて好感は持ちますが、もっと有意義な意見を引き出して欲しい。
- ・ 柔らかい頭を職員一人一人が持ち、市民への対応をしてほしいと思いました。レイバー→ワークプレイの考えは面白いと思いました。全体としては良い企画だったと思う。色々ヒントをもらえました。SDGsの観点は欠けていたように思います。
- ・ 事業に夢を持てる、期待値が上がるシンポジウムでした。
- ・ このような方々の意見を聞くのは初めての経験だったので、新鮮でした。もっと他の方々の意見を聞くことで、より多くの選択肢も増えると思いますので、色々な人の意見を聞いて、取り入れて下さい。
- ・ 藤沢市役所にも情熱をもった職員の方がたくさんいますようにと願います。市民を集めたトークセッションなのに、ちょっと役所よりのお話に展開していき、残念です。

- ・ 公民連携をやるのは難しいと思うが、ぜひやってほしい。馬場さんに藤沢の今回の事業の全面的なアドバイザーになってもらいたい。職員とスペシャリストでプランを進めていくイメージの議論がなされている。しかし、職員 50：市民 50 の形で推進しないと、今までと同じ、市役所のトップダウンで終わってしまう。こんな形はさみしい。いかにやる気のある市民、特に若手市民をこのテーマに引きすり込めるかが重要ですよ。
- ・ 今日のシンポジウムは職員向けだったのかと改めて認識しました。
- ・ 複合施設の魅力・価値について掘り下げてもらいたかった。今回のシンポジウムの職員の本気度が伝わってきた。
- ・ 熱意を持った人たちが集まり、話し合いを重ね方向性を決めていくことの重要性を痛感しました。
- ・ お二人と行政の温度差があるのでは？
- ・ 複合化には反対ではないが、儲け主義にはならないでほしい。また、お金がないからと、今ある施設より小さくしないでほしい。民から学ぶことは大切だが、やはり公でやるべきだ。公の学びが足らなすぎる。公はすべてにおいてもっと学ぶべきだ。オランダのように、高齢者を含むハンディキャップのある人たちを国策市策としてもっともっと外へ出し、直接その人たちの声を聞いてほしい。興味はあるが、今の藤沢もこの通りやっていて新しいことではない。オランダから学んでほしい。今の藤沢は新林公園、江の島、駅、川と地の利を大きく見て作られている。馬場さんの考えは新しいものではなく、藤沢は数十年前から実施している。馬場さんの考えは企業を入れる案が強すぎる。弱きものを助け、みんなが幸せになれるようにしてほしい。図書館について、デジタルの本を勧められると思ったが、やはり行きつくところは紙の本。学校で今デジタル化が盛んだが、能力的にも体力づくりのためにも、子どもには是非紙の本を勧めてほしい。脳を、体を大切に育ててほしい。藤沢の図書館には私の読みたい本がない。図書館の本を増やして下さい。
- ・ 副市長の質問以外は、両プロが抜群の回しだった。両プロの自由・柔軟なスタンスが新鮮で、今後とも是非市を助けてほしい。
- ・ 馬場さんのお話がとても面白かった。こういう人が絡めば面白いことが実現するだろうと思う。話を聞いた人が簡単にできるようなことではない。デザインと運営が一緒にならないと、中途半端なものになると思う。夢を持った人がプロジェクトをすすめていけばいいと思う。幅さんの本の話も本当に素敵だった。今日は本当に来てよかった。
- ・ 創造する人達は、楽しそうにアイデアを挙げているが、行政に実現化できるのか？職員に期待します。
- ・ 講演はわかりやすい事例がたくさんあってよかったが、資料が欲しかった。トークセッションは市民を巻き込んで感がよくよかった。
- ・ 市民の当事者意識が大切だと思った。行政・企業・市民のセッションができると、可能性はますます広がるのではないか。
- ・ とても楽しかった。
- ・ 自分事、当事者になることが大切。私も副市長にどういう場所にしたいのかを聞きたいと思っていたので、馬場さんから問いがあってよかったです。

(6) 生活・文化拠点（市民会館等）再整備事業のあり方について

ア 再整備事業の取組内容



イ その他【再整備事業に対するご意見・ご感想】（自由記述）

- ・ 最初から参加できなくて残念でした。今後もこの盛り上がりを力に進めていただければと思います。
- ・ 基本構想等関係資料のリンク先を示してほしい。
- ・ 第2回を期待します。
- ・ バリアフリー整備。ミュージックライブを楽しみたいです。
- ・ 図書館エリアは広くしてほしい。芝生エリアを広くしてほしい。旧近藤邸は広くて明るい場所に移動してほしい。できればカフェにして欲しい。図書館の深夜営業は実現してほしい。
- ・ 図書館の役割、目指したいことを考えられました。次は是非、ホール建築、運営のお話を伺いたいです。

- ・ 市民会館周辺の住民だけでなく、藤沢市のできるだけ広範囲の住民も巻き込める仕組みが必要と感じた。交通の面でも機会の面でも。
- ・ 市民への情報共有をできるだけきめ細かくしながら事業を進めてほしい。その際には、本日の資料にあるような「基本理念」「ビジョン」のような、お役所らしさ満載の作文ではなく、きちんと内容が伝わるか吟味したものにしてほしい。
- ・ 熱量のあるプレイヤーがどれだけ集まるかが、エリア活性化のカギになると強く感じました。市民のやりたいことを好きにだけ言える、対話・コミュニケーションの機会（各地区へ出向き、飲みながらでも）が、一つでも多くあることを期待しています。
- ・ 会場の質問にもありましたが、せっかく川に沿っているので、親水要素を取り入れたエリアにしてほしい。藤沢にとって川は単なる水路ではなく、産業や生活の営みの場であったはずで、歴史・文化上価値のあるものであり、活かせる財産である。
- ・ 是非インクルーシブな施設にしてほしい。（すべての人のための、例えば障がいのある方が働いている姿を見せられるような。）変更可能なプログラム（ソフト・ハード両面）を願います。市民活動や文化団体の発表をインストールした設計をお願いします。学校も含めた利用者側の使い勝手についての意見をインストールして下さい。
- ・ 図書館に、近所にある「かなテラス」と情報提携して、ジェンダーやDV・虐待・女性問題の本を、テーマごとにたくさん置いてほしい。それに関するセミナーや、自助グループの案内などもあるとよい。子ども家庭課とも共有して、困っているお母さんにおすすめの本を教えてほしい。
- ・ 行政・民間・市民が立場を超えて、ともに成長させることのできるプログラムを、公民連携室のような柔軟なチームを作り、みんなでワクワクしながら、自分事としてかかわれるようなプロジェクトにしていて下さい。藤沢市の市民は、楽しいことをできる人がたくさんいると思う。藤沢市で馬場さんや幅さんの話が聞けるシンポジウムが開かれたことはとてもうれしかったです。職員の方のインタビューよかったです。
- ・ 貧困者・ホームレスを受け入れられる市民会館を作ってほしい。
- ・ 大きなプロジェクトなので、いろいろな意見を聞いて取り組んでいただければと思います。期待しています。
- ・ 今後も関われば良いと思う。
- ・ 今後もとても楽しみにしています。幅さんのおっしゃった、ラジオ、是非やってほしいです。
- ・ 境界がない機能の複合に市民会館が無い。市民の位置付けが無い。
- ・ 馬場氏の発言にあった「公民連携は目的ではない。多様な方法・手段のひとつだ」は当然な考え方なのだが、行政はそう考えているかは？マークかな。馬場氏の締め言葉にあるように、日本の先駆的な取り組みになれば良いですね。そうしましょう。
- ・ 市民対話集会が今後いつ行われるのか知りたい。ホームページや広報でお知らせ下さい。
- ・ またこのような機会があれば良いと考えました。
- ・ 副市長の反応を見ていると、やはり市サイド、職員中心型の事業計画になるのでは、と少し不安を感じました。「職員の啓発」のことばかり話していて、市民の存在については何も出てこなかったのが悲しい。具体的に「エリアの価値を高めるために」の案をどんどん出してもらったほうがよかった。市民まつりや市民オペラ等との関わりとか、他のプロジェクトをどんどん意見出

してもらってもよかった。それから高齢者が楽しめる場所も欲しい。ハコモノ（ハブ）の計画・プロジェクトが大切だが、図書館に入れる資料等の予算を増額してほしい。資料ありき。よい資料がたくさんあれば、利用者も増えます。

- ・ 公民連携事業の成功例となることを期待します。大学で学ぶ分野に関わるので、是非今後も取材させていただきたい。私のような学生など、特にバックグラウンドの無い人が気軽にアイデアを出せる場があればぜひ参加したい。積極的な市民活動を支援する体制づくりをしていただきたいです。
- ・ 今後もこのような事業進捗を共有できる場を作って欲しい。
- ・ 図書館の集客力が自然に生まれるような再整備をしてほしい。今回は多くのヒントをいただいた。
- ・ 住民のアイデア、意見を取り入れ、市民が使いたい、使い易いものにしたい。市民の未来像を描き、目標として拠点をどうするか、どうとらえるか構築してほしい。未来に向けて計画していきましょう。アトリエ、レッスン室、ライブハウスのような多目的空間をそれぞれ作ってほしいです。今この施設を使っているアーカイブも下さい。
- ・ 再整備施設に、アートスペースが入っていたのが驚きました。辻堂の施設がなくなるのでしょうか。「チャレンジ」の中には美術・文化的なものも含まれると思うが、そこには、ある種の「弱さ」を持ったものもあると思います。本質的な文化を、具体的にどう支援するか、ぜひ検討をお願いします。
- ・ 職員には頑張ってもらっている。プロジェクトの方々には文化芸術の拠点としての市民会館を、利益を生む、生まないで決めないでほしい。住んでいる市民が、利用して得したと思える場所にして欲しいと思います。あまり他の県から人が呼べるとかは重要視しないで下さい。
- ・ ワークショップが肝になるので、集客の仕方を工夫してほしい。行政の柔軟性が問われています。沼津市のような対応力を発揮できるか注目しています。
- ・ 副市長の質問が、担当者の思いを伺う機会にもなり、とても血が通う温かい時間にしていただきました。ご多忙の皆様、お身体に気を付けて、未来の空間を実現につなげていただければと願っています。私はほんのささやかで微力ではありますが、今後もとても関心をもって関わっていきたくと思っています。
- ・ 数十年後も利用に耐える施設を作るために、市民の意見を聞く機会を、今後も検討してほしい。
- ・ 公民連携で、公は独善的にならず、民は利益だけを追わず、市民が何度も来たくなる拠点にして欲しい。市民ギャラリー・ホール・図書館・公園が密接につながった素晴らしい施設となるようみんなで進めて行きましょう。
- ・ 過去の経緯は存じあげませんが、秩父宮体育館が含まれていません。建替に至らなくても、健康・スポーツは今後の重要テーマです。PFIの対象に入れずとも、エリアビジョンを語るうえで、包含されたほうがよろしいと思います。市民目線からは不可解です。賢明な市の見解を求めます。
- ・ 来訪者の目的地となるようなオープンスペースになることを期待。例えば、ヨーロッパの街では、毎週土日は地元の人によるマルシェが行われている。公園や広場を多く見かけ、観光の目的地となっている。藤沢市は観光都市でもあるので、この土地の文化が楽しく感じられるような

場になると良いと思う。街中にこれだけのスペースがあるのはとても貴重なので、まちに人が集まるコアにしたい。

- ・ チャレンジには心から応援したいです。
- ・ 公民共動ではあるが、市のリーダーシップは不可欠。
- ・ ワークショップを大切にしてほしい。
- ・ 今後この事業と、市民として関わっていきたいと感じました。
- ・ 土地が低いところがあるので、津波に対応できるよう、高い建物でもよいかと思います。図書館の蔵書なども、濡れないよう保管できるとよいと思います。中高生の勉強室の利用者も多く、学生や一般のレポートなど調べものの資料も揃えることができ、熱心な方も多かったと思いますが、今の小田急ビル内の図書館は蔵書が変わってしまい、残念に思います。勉強室のスペースがもう少し広くなるとよいと思います。新しいタイプの図書館の中には、あまり共感持てないものもあるので、よく考えられた図書館を期待したいです。
- ・ 新規ビジネスの成功方程式は、あるべき姿を目指して、素早くコントロールされたトライを数多く繰り返して改善することに尽きる。本日の話はその方向を示しており、大いに期待をしたい。
- ・ 人の作ったレジュメを読み上げるのは、頭に入ってきにくい。意見交換ができないのは残念。対話集会 2 回程度で意見をまとめられるのか。これだけの人が集まる場での自由な意見交換は活かしてほしい。副市長のアタマはやはり上から目線だったが、市民だって語る言葉は持っている。「議論のコントロール」はしないでほしい。藤沢市も市民のプレゼン大会をしてほしい。でもほとんどの会のタイトルがカタイ、狭い、応募しにくい。認知度も低いです。役所の中のコンセンサスも大切だが、全職員が向くべきは市民の方でしょう。NY ブライアント公園も素敵だが、静かに過ごせる、人が混みあわないのも大切にしてほしい。馬場さん、話がうますぎて、ちょっと胡散臭い。でも魅力的。プロジェクトメンバーに加わりたい。藤沢市のプロジェクト、バッハ幅さんに入ってもらいたい。
- ・ 大切なのは公共の役割です。集客や企業の利益と一体化ではすべての人たちが利用しやすい施設になるのかどうか疑問があります。再整備について質問できないのは納得できません。公民連携が素晴らしいとアピールするシンポジウムになっていて残念でなりません。検討している計画内容を市民に具体的に知らせてください。決まってからでは変えられません。市民要望を取り入れてほしい。必要な機能や役割について予算を十分にとってほしいです。
- ・ 職員の方の直接の言葉を聞いたこと、それをアレンジする馬場氏のアイデア、またそれをアレンジした藤沢市に期待したい。
- ・ 変更できる設計、止める設計、進める設計、という柔軟な考えで進めてほしい。ワクワクする空間を作ってほしい。何もしないでいられる場所としての空間がほしい。
- ・ 「都市・地域の価値を高める」ということは前提となるのでしょうか？価値が高まるということが、価格の上昇となり、今、辻堂はその人気から、価格高騰のため、以前から住んでいる人には住みづらいこととなり、離れていく人もいます。
- ・ 本日のような、外部の知見をインプットし、どれだけ柔らかく思考できるかですね。機会があれば積極的に関与したいと思いました。

- ・ 多くの意見をまとめてほしいとは思いますが、すべて取り入れると、新しさがなくなり、無害安全平凡になってしまいそうです。
- ・ この部分での質疑応答の時間がなかったのは不満です。
- ・ ぜひ、図書館を大切に、拠点を作ってください。とても重要な公共施設です。
- ・ 実際に関わっている企画政策課の方々の意気込みが聞けて良かったです。市民の声も聞いて、発信もしていただいて、より良いものを作っていただけたらいいなと思います。自転車で10分足らずで来られる場所が、キラキラした素敵なおところになることを望んでいます。
- ・ 集約する機能が多いので、本当にシームレスに続けることができるのか疑問に思うところもあるが、魅力的なエリアになるよう期待する。たくさんの方が、ビジョンを具体的にイメージしやすいしくみ、工夫が必要だと思う。字面だけでは漠然としていて、どんなエリアになっていくのか画が見えない。
- ・ 公民の壁をいかに取り払うか？1 つはプロジェクトメンバー数を公人と民間人同数にするのが基本となろう。市民からいかに人材を見出していか。特に中高齢者ではなく、若い力・若者が必要となろう。図書館の隣に流れる境川をいかに活用できるかも課題。FM 湘南の時間に市民のプロジェクトが毎回プレゼンをして、市民が披露するような形をとっていけないか。
- ・ 基本計画がきちんとまとめられないと、実施計画段階での無理が出てくると思う。基本構想から、基本計画に十分な労力と時間をかけてほしいと思います。
- ・ 今後はこまめに情報を開示してほしい。ビジョンはわかりやすいが、具体的なエリアのイメージは、これから明確になることと思います。今はまだ、スローガンばかりで美しく聞こえる。
- ・ 行政の企画政策課の方々がシンポジウムを計画されたとお聞きし、感動しました。今日のシンポジウムを出発点として、市民と、複合化される施設関係者と、行政の方々が話し合いのできる場を設けていただきたいと切に願っています。
- ・ 共感でき、良かったが、複合化する機能には、ビジョンにある「子ども」感がうすいので、どうやっていくのかまだ見えない。公民連携というと、民に公の財産を良いように利用されるイメージを持つ方も多いと思うが、今日のシンポジウムのお二人の考え方や、既に始まっている事例を聴くと、そんなところは、とっくの昔に飛び越えていると実感した。デザインとマネジメントを一緒に考えていくとか、ハードを使って人と人を繋げていくような仕掛けを行っていくことや、そこに行動心理学的な投げかけをしていくなど、ワクワクする時代がやっとやってきたと思う。「公民連携」なんて古臭い言葉にとられることなく、「みんなの公園」であり、「みんなの図書館」であり、「みんなの公共施設」に、何が欲しいかではなく、何をしたいかの議論をしてほしい。そうすれば、市民もある意味責任を感じて使うのではないだろうか。そのために行政は「規制を取っ払えるか」「頭を柔らかくできるか」それが問われていると思います。
- ・ ビジョンについては、本当に市民中心に考えを通してくれるのかがカギだ。現在の藤沢市の公園・市民会館・体育館・図書館等々、馬場さんの言われることは50年前に藤沢も湘南台もできていて、馬場さんの話は新しいものではなかった。ギャラリー・市民活動センター・図書館は絶対に狭くしないでほしい。レストラン類は、大企業ではなく、弱き人々の働く場にしてほしい。地場産で有機野菜であってほしい。スターバックス等は世界のどこでも生きて行ける。弱き人々はそれなりの努力は大切だが、行政の援助が必要だと思う。図書館にコーヒーはいらない。

コーヒーは公園で飲んでほしい。本を汚さないで。儲けるための施設ではなく、オランダのように弱きものたちが生きていきやすい、福祉の立場を忘れないでほしい。

- ・ 再整備事業の取り組み内容としては、教科書的で独自性が感じられなかった。役所内の役職にこだわらず、将来長い若者たち中心に今後進めてほしい。
- ・ 楽しくプロジェクトが進んでいくとよいですね。行政の方々の暗い顔が気になった。自分事と思っている感じはありませんでした。イメージや言葉ではなく、そこに居る生身の人間たちが心地よく過ごすということが一番大事だと思います。
- ・ 近藤邸の拠点化、アートのスペース・ギャラリー、多目的ホールの拠点化。
- ・ 今の市の計画だと、馬場さんがおっしゃった、ダメな感じのマスタープランになりそう。使う人の話を聞いてないし、企業のほうを向いているように見える。もっとそれぞれの施設の利用者とか運営している人たちから、よりよくなるためにどうしたらいいのか聞いてほしい。ワークショップだけでは不十分だ。この再整備事業の会議にも、使用している市民を入れてほしい。対話集会を何回もして、ちゃんときいて変えてもらったり、そうなる理由を教えてもらったりできると、一緒に作る気持ちのなると思う。今のままでは当事者になれそうにない。残念。いい講演でした。
- ・ 具体的なイメージが見えず、抽象的な印象を受けた。今の時代をどのように捉え、対応していくか、より多くの市民に、もう少しわかりやすい伝え方を考えてほしい。ただ、トークセッションがあったことで、可能性の広がりを感じた。
- ・ 民間が入ることで、市民の活動がやりにくくなることはないように願っている。利益を目的とするものと、市民活動を別の考えで両立するやり方で、活用できるのがよいと思います。文化芸術と生活、活動をつくる場になればと思います。
- ・ 期待度を今は「あまり期待できない」としたがこれから。今日の話をもとにチャレンジを一緒にしていきましょう。公民連携の民が民間企業のみならず、「市民」が入っているというイメージがなかったので、自分もここがどうなりたいのか、一緒に考えていきたいです。プロジェクトのラジオ、楽しみにしています。広報の中にプロジェクトコーナーとかがあるとよいですね。藤沢が素敵だと思える場所にしたい。文化芸術は人と人をつなぎ、豊かなものを生み出すと思う。数値化できないものを構築することが大切ということに共感しました。

生活・文化拠点再整備事業
シンポジウム参加者アンケート結果
2023年（令和5年）1月
藤沢市役所企画政策部企画政策課
公共施設再整備担当

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

TEL 0466-25-1111（内線 2172）

FAX 0466-50-8436

E-mail fj-kikaku-fm@city.fujisawa.lg.jp

生活・文化拠点（市民会館等）再整備事業

シンポジウム参加者アンケート

本日は生活・文化拠点（市民会館等）再整備事業に係るシンポジウムにご参加いただきましてありがとうございます。今後の参考とさせていただくため、アンケートのご協力をお願いいたします。

※該当する選択肢に○を、自由記述欄にはご意見をご記入ください。

1. お住まい

・藤沢市内

（地区：片瀬・鵜沼・辻堂・村岡・藤沢・明治・善行・湘南大庭・六会・湘南台・遠藤・長後・御所見）

・藤沢市外（県内・県外）

2. 年齢

・10～20代 ・30～40代 ・50～60代 ・70代以上

3. 本シンポジウムを知ったきっかけ

・広報ふじさわ ・市ホームページ ・LINE ・チラシ ・知人友人

・その他（内容：_____）

4. シンポジウムに参加された理由（複数回答可）

・テーマに興味がある ・事業の内容を知りたい ・登壇者の話を聞いてみたい

・その他（内容：_____）

5. シンポジウムの内容について

（1）基調講演「公民連携による新しい公共空間のつくりかた」

①【内容】

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

②【わかりやすさ】

・よく分かった ・分かった ・普通 ・分からなかった ・全く分からなかった

③【公民連携について】

・とても興味がある ・興味がある ・どちらともいえない ・あまり興味がない ・興味がない

【裏面に続く】

(2) トークセッション「エリアの価値を高めるために」

①【内容】

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

②【わかりやすさ】

・よく分かった ・分かった ・普通 ・分からなかった ・全く分からなかった

(3) その他【基調講演・トークセッションに対するご意見・ご感想】(自由記述欄)

6. 生活・文化拠点(市民会館等)再整備事業のあり方について

(1) 再整備事業の取組内容

①【内容】

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

②【わかりやすさ】

・よく分かった ・分かった ・普通 ・分からなかった ・全く分からなかった

③【ビジョンについて】

・とても共感できる ・共感できる ・どちらともいえない ・あまり共感できない ・共感できない

④【事業への期待度について】

・とても期待できる ・期待できる ・どちらともいえない ・あまり期待できない ・期待できない

(2) その他【再整備事業に対するご意見・ご感想】(自由記述欄)

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、お帰りの際に会場出口のアンケート回収箱にお入れ下さい。